

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-25℃ ～ +85℃	
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	_____	_____	
	電 流	2 A	適合ケーブル	φ6.2 ～ φ7	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機械的性能	コネクタの挿抜力	φ0.53 ±0.003 の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.15 N 以上	○	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 50 N 以下 (ロック機構を含む)	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 30 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数 10～ 55 ～ 10 Hz/サイクル, 振幅 0.75mm, 5分/サイクルで 3軸方向 各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波3軸両方各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ保持力	圧着結線された適合コネクタを組み込み後 電線に引張荷重を加え測定する。	20 N 以上	○	—
	コネクタ破壊強度	コネクタをカン合した状態で、 ケーブルを上下左右方向に力を加える。	30N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90～95 %中に 96 時間 放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高温 時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥 時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
環境性能	温度サイクル	温度 -55℃ →常温 → +85℃→常温 時間 30 → 10～15 → 30 →10 ～ 15 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	機能を損なうような、はなはだしい 腐食がないこと。△	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐水圧性△	適合コネクタをかん合した状態で 水深1 mlに 0.5 時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部 に17-圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
1	3	DIS-C-00003130	KN. IKEHARA	HY. KOBAYASHI	20190422
備考			承認	MO. SATOH	20060612
			検 図	EJ. KUNII	20060612
			担 当	DS. MATSUNE	20060612
			製 図	MK. SATO	20060608
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)△					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-112153-71	
HRS	製品規格表		製品名	HR30-7P-12SC (71)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL130-0014-5-71	△ 1/1